



# 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 サンワテクノ株式会社  
コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 玉木 克也

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	84,356	18.8	3,299	56.5	3,575	62.9	2,528	63.0
2022年3月期第2四半期	70,978	14.8	2,108	134.2	2,195	115.0	1,551	119.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,715百万円 (61.5%) 2022年3月期第2四半期 2,300百万円 (45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	163.50	
2022年3月期第2四半期	98.23	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	99,251	41,480	41.8
2022年3月期	93,078	38,023	40.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 41,480百万円 2022年3月期 38,023百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		20.00	37.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,000	12.7	6,500	35.3	6,650	28.0	4,650	30.0	300.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	16,044,000 株	2022年3月期	16,044,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	562,307 株	2022年3月期	600,439 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	15,462,672 株	2022年3月期2Q	15,791,675 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2022年11月7日(月)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 仕入、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の回復や企業の設備投資が継続したことで、景気の拡大が継続していましたが、資材価格の高騰や各国の景気減速、為替変動の影響など、経済活動は先行きが不透明な状況が続いております。世界経済については、コロナ禍からの正常化が進んでおりましたが、物価上昇や、各国がインフレ対策として金融引き締めを行ったことで、経済成長が減速しております。中国でも上海ロックダウン以降、景気の拡大は鈍化しており、さらに世界的な経済成長減速により輸出の減少が見られます。アメリカでは、個人消費の落ちつきが見えたことや、金融引き締めにより設備投資が減少し、経済成長が減速いたしました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、5Gの普及・電気自動車（EV）化の推進・再生可能エネルギーへの注目の高まり等を背景に、半導体関連・自動車関連・太陽光関連などの市場で積極的に設備投資が行われました。また、半導体をはじめとする部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配も継続しており、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高843億56百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益32億99百万円（前年同期比56.5%増）、経常利益35億75百万円（前年同期比62.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億28百万円（前年同期比63.0%増）となり、それぞれ過去最高を更新する結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

#### [電機部門]

電機部門では、半導体関連業界向けの重電機器及び電機品、太陽光関連業界向けの制御機器及び電機品、産業機械業界向けの制御機器の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は168億31百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

#### [電子部門]

電子部門では、産業機械業界向けの電子部品及び電子機器、自動車関連搭載向け、生活家電関連業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電子機器、コネクタ及び電子部品、OA機器関連業界向けのコネクタおよび電子部品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は624億88百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

#### [機械部門]

機械部門では、食品関連業界向け及び自動車関連業界向けの設備機器、FPD関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は50億36百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

#### ① 日本

半導体関連業界向けの重電機器、電機品、電子機器及びコネクタ、太陽光関連業界向けの制御機器、産業機器業界向けの制御機器及び電子部品、自動車関連搭載向けの電子部品、OA機器関連業界向けのコネクタ、食品関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。この結果、売上高649億94百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益22億80百万円（前年同期比92.1%増）となりました。

#### ② アジア

アジア地域では、太陽光関連業界向けの電機品、産業機械業界向け及び半導体関連業界向け電子機器、自動車関連搭載向け、OA機器関連業界向け及び生活家電関連業界向けの電子部品、FPD関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。この結果、売上高284億98百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益11億38百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

#### ③ 欧米

欧米では、半導体関連業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品、自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。また、生活用品業界向け及び繊維関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。また、輸送費高騰の影響を受け、営業損失となりました。この結果、売上高33億13百万円（前年同期比10.1%増）、営業損失40百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

#### ④ その他

売上高は3億35百万円（前年同期比10.7%減）、営業損失10百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、992億51百万円となり前連結会計年度末に比べ61億73百万円増加しました。受取手形、売掛金及び契約資産、商品の増加が主な要因であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、577億70百万円となり前連結会計年度末に比べ27億16百万円増加しました。電子記録債務及び短期借入金の増加が主な要因であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、414億80百万円となり前連結会計年度末に比べ34億56百万円増加しました。利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億55百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には155億21百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は8億97百万円となりました。これは主に、棚卸資産の増加（35億15百万円）、法人税等の支払（13億51百万円）等による減少がある一方で、税金等調整前四半期純利益（36億10百万円）等により一部増加したものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億34百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出（2億28百万円）等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は21億37百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額（49億6百万円）による増加がある一方で、長期借入金の返済による支出（24億円）、配当金の支払（3億8百万円）等により一部減少したものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、2022年5月9日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年10月28日）公表いたしました「2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,049	16,005
受取手形、売掛金及び契約資産	43,146	45,030
電子記録債権	8,851	9,445
商品	12,006	16,405
仕掛品	0	6
その他	4,310	2,166
貸倒引当金	△155	△162
流動資産合計	82,209	88,896
固定資産		
有形固定資産	2,230	2,237
無形固定資産	226	251
投資その他の資産	8,411	7,865
固定資産合計	10,868	10,354
資産合計	93,078	99,251
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,472	22,881
電子記録債務	17,204	18,674
短期借入金	5,405	10,545
1年内返済予定の長期借入金	2,400	—
未払法人税等	1,244	991
引当金	—	49
その他	3,070	2,672
流動負債合計	52,797	55,814
固定負債		
長期未払金	177	52
役員退職慰労引当金	114	119
退職給付に係る負債	955	976
その他	1,010	807
固定負債合計	2,257	1,956
負債合計	55,054	57,770
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,549	3,544
利益剰余金	26,867	29,086
自己株式	△867	△812
株主資本合計	33,277	35,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,721	3,246
為替換算調整勘定	1,024	2,687
その他の包括利益累計額合計	4,746	5,934
純資産合計	38,023	41,480
負債純資産合計	93,078	99,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	70,978	84,356
売上原価	62,229	73,623
売上総利益	8,749	10,733
販売費及び一般管理費	6,640	7,433
営業利益	2,108	3,299
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	51	81
仕入割引	20	18
受取家賃	67	69
為替差益	—	84
その他	53	95
営業外収益合計	201	357
営業外費用		
支払利息	22	47
売上債権売却損	20	23
為替差損	64	—
その他	8	10
営業外費用合計	115	81
経常利益	2,195	3,575
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12
関係会社株式売却益	—	21
特別利益合計	—	34
税金等調整前四半期純利益	2,195	3,610
法人税等	643	1,081
四半期純利益	1,551	2,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,551	2,528

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,551	2,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	△474
為替換算調整勘定	620	1,662
その他の包括利益合計	749	1,187
四半期包括利益	2,300	3,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,300	3,715
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,195	3,610
減価償却費	152	182
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△0
受取利息及び受取配当金	△60	△89
支払利息	22	47
為替差損益 (△は益)	△5	106
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△12
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,496	△647
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,910	△3,515
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,604	△995
その他	408	1,732
小計	3,900	419
利息及び配当金の受取額	60	89
利息の支払額	△22	△54
法人税等の支払額	△475	△1,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,462	△897
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31	△52
投資有価証券の取得による支出	△22	△228
投資有価証券の売却による収入	—	15
その他	△36	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△234
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	247	4,906
長期借入金の返済による支出	—	△2,400
リース債務の返済による支出	△50	△59
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△268	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71	2,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	278	949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,579	1,955
現金及び現金同等物の期首残高	12,629	13,565
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,208	15,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(在外子会社の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場による方法に変更しております。この変更は、在外子会社の重要性が増してきたため、一時的な為替相場の変動による損益等への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させることを目的とするものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,340	20,670	2,601	70,613	365	70,978	—	70,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,881	2,139	408	9,430	9	9,440	△9,440	—
計	54,222	22,810	3,010	80,043	375	80,418	△9,440	70,978
セグメント利益	1,187	892	13	2,094	9	2,103	5	2,108

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	55,895	25,392	2,744	84,032	324	84,356	—	84,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,098	3,105	569	12,773	10	12,784	△12,784	—
計	64,994	28,498	3,313	96,805	335	97,140	△12,784	84,356
セグメント利益又は損 失(△)	2,280	1,138	△40	3,378	△10	3,368	△68	3,299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68百万円には、セグメント間取引消去6百万円及び棚卸資産の調整額△74百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 仕入、受注及び販売の状況

## ①商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	55,801	117.3
アジア (百万円)	20,095	125.6
欧米 (百万円)	1,900	123.9
報告セグメント計 (百万円)	77,796	119.5
その他 (百万円)	230	88.1
合計 (百万円)	78,027	119.4

## ②受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	69,223	107.6	63,573	176.8
アジア	29,787	107.0	25,493	168.8
欧米	2,885	96.2	1,720	180.6
報告セグメント計	101,897	107.1	90,787	174.5
その他	345	75.0	180	93.6
合計	102,242	106.9	90,967	174.2

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	55,895	118.1
アジア (百万円)	25,392	122.8
欧米 (百万円)	2,744	105.5
報告セグメント計 (百万円)	84,032	119.0
その他 (百万円)	324	88.8
合計 (百万円)	84,356	118.8

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。